

●ハリオグラス株式会社
 創業年：1921（大正10）年
 代表者：柴田保弘
 事業内容：耐熱ガラス食器・家庭用品の企画・製造・販売、理化学・耐熱食器用ガラス素材・自動車用ヘッドレンズ各種工業用・医療用ガラス素材の開発・製造
 資本金：4億5,000万円
 売上高：非公開
 従業員数：非公開
 所在地：東京都中央区日本橋富沢町9-3
 電話：03-5614-2101
 URL：http://www.hario.com/



1963（昭和38年）8月9日、米国デトロイトで生まれ、和歌山で育つ。和歌山市野崎小学校卒業。趣味はゴルフに長唄三味線。家族は夫、猫2匹。

好きな店・おススメ：人形町にある鉄板焼き・お好み焼き・もんじゃの「さのや」が気に入る。一押しスポットは末廣神社で、今年日本橋七福神めぐりにも参加した。



隅田川クリーン大作戦に参加。仲間との連帯感や充実感も魅力の一つ



無心に取り組んだ浜離宮庭園の草むしり。きれいになったのが目に見えてうれしい



築地児童館での夏祭りのお手伝い。楽しみながら地域と関わっている

社屋から迎えてくれたのは笑顔が素敵な広報担当の辻本真理さん。案内してくれたショールームには、サイフォンやポットなどデザイン性の高い耐熱ガラス食器がずらり。バイオリンや琴など世界初のガラス製楽器も展示されている。

辻本さんが「フィランソロピーに力を入れ、環境が整っている」という同社では、社員が給与の一部を端数預金し災害支援等へ寄付すると、同じ先に会社が同額を足して寄付してくれる。お金だけでなく、体を使うことが大切だと始めた「365の1dayプロジェクト」は、もう15年以上続いている。365日中、少なくとも1日は地域や社会の奉仕活動にあてよう、という取り組みだ。

会社からの強制はないが、全員が清掃活動やイベント時の介助役、高齢者の外出の付き添いなどのボランティアに参加する。辻本さんが務めたお世話係はボランティア情報のお知らせ、参加者の取りまとめが主な仕事。大変なこともあるが、きめ細やかなサポートで皆が気持ちよく取り組んでいる。

堀留町交差点の角に、繊細な装飾が施された列柱が壁面を飾る荘厳華麗な建物がある。昭和7年に銀行として建てられたものだ。10年前からハリオグラスが本社ビルとして使用し、国の有形文化財にも登録されている。

利益にはならないが誰かがやらなければならぬことが社会にはたくさんある。「身の丈に合ったやり方で、細く長く続けていきたい」と辻本さん。まちづくりに必要不可欠である。

思い切ってやってみると、清々しい気持ちになるし、喜ばれとうれしいもの。誰かの役に立っているという心地よさを感じてほしい。社会の中で人は生まれ、社会もまた、人の手によって豊かになっていくもの。きっかけと、習慣になる環境がカギとなる。

東京 日本橋 まちづくりネットワーク 6

●日本橋めぐりの会 遠藤梨栄

日本橋界隈を舞台に、まちづくりに取り組む人々とその活動などを紹介。まちを愛し、奮闘する「まちびと」の輪をリレー形式でつなごう。



谷崎潤一郎生誕の地：明治19年、日本橋人形町で生まれた日本を代表する小説家・谷崎潤一郎。生い立ちから小学校時代を綴った回想記『幼少時代』には、親子井で有名な「玉ひで」や佃煮の「ちとせ」など、今なお愛される近隣の老舗の様子が詳細に描かれている。

社会とのかかわりの中で人は成長する

誰かの役に立っているという心地よさを感じてほしい。社会の中で人は生まれ、社会もまた、人の手によって豊かになっていくもの。きっかけと、習慣になる環境がカギとなる。



「ロイヤルパークホテル」の菅野浩史さん